

第13 回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時	令和7年5月20日(火) 午前10時00分		
開催場所	江東区文化センター4階 第2会議室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 ＜委員長＞ 志村 秀明 ＜委員＞ 村木 美貴、市古 太郎、江守 央 【区職員】 都市整備部長、まちづくり調整担当部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、再開発担当課長、地下鉄8号線沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
西大島地域まちづくり方針【増補版】(案)及び(仮称)大島三丁目駅前エリアまちづくり方針(案)について		まちづくり推進課	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料 2-2	方針で示す垂直避難は自宅以外の高い場所への緊急一時避難を含むのか、定義を確認したい。	江東区地域防災計画では、自宅が浸水区域内にある場合は、原則広域避難としている。一方で、逃げ遅れた方に対しては、緊急一時的な垂直避難場所の確保が求められており、今回はそれに対応した方針である。
2	資料 2-2	水害時の避難行動について、地域住民の理解を深めるとともに、緊急一時避難場所についても周知をしてほしい。	
3	資料 2-1	住民説明会での地域住民の反応を教えてください。	浸水対策の取組に対する区の考え方や整備方法の一つである再開発事業に関する質問が多かった。
4	資料 2-2	広域避難は空路と水路が考えられるが、具体的にどのようなイメージをしているか。	空路については超高層建築物の屋上等のホバリングスペース・ヘリポートを活用し、ヘリコプターによる避難や物資輸送を想定している。 水路については、浸水している状態の道路空間等の屋外空間を活用し、ボート等による避難や物資輸送を想定している。

5	資料 2-2	水路について、既存ポートの活用は想定しているか。	既存ポートだけでなく、ポートが着岸できる屋外階段の活用も見込めると想定している。
6	資料 2-3	30 ページの広重や葛飾北斎の作品に描かれている歴史的景観を、今後想定している再開発事業で継承できるよう検討してほしい。	今後、再開発事業を進めることとなった際には、周囲との調和や歴史の継承、羅漢寺との関係などは重要な観点であるため、事業者に対してしっかりと指導していく。
7	—	本地域のまちづくりに対して地域の方の関心は非常に高い。再開発事業に対しては、反対している方も一定数いると考えられるため、地域住民に対して丁寧に説明をしながら進めてほしい。	